

主な理由 お客様が NVMe 対応の Dell PowerMax を選ぶ理由

10

PowerMax は、ミッションクリティカルなデータを保護するインテリジェントで革新的な信頼できるエンタープライズ ストレージであり、常に最新のストレージに迅速に移行できます。お客様が PowerMax を選ぶ主な理由をご紹介します。是非お読みください。

1 | AI 主導型のストレージ自動化

PowerMax は、次世代のオートメーションを活用して IT 運用を合理化し、ビジネスの成果を迅速に達成します。予測分析とパターン認識を使用して成果を最大限に向上させる組み込みの機械学習によって、各システムで自律型ストレージを実現します。新しい AI 主導型のキャッシュ最適化エンジンは、キャッシュレイアウトを動的に最適化することで、PowerMax の応答時間のレイテンシーを短縮します。管理オーバーヘッドを削減するために、自律型ヘルス チェックでは予測分析とインテリジェントなしきい値を使用して、潜在的な最適化の機会と推奨されるアクションを特定します。

2 | 業界をリードするサイバーセキュリティ

PowerMax は、卓越したサイバー レジリエンスを備えています。世界最高水準の安全性を誇るミッション クリティカルなストレージ¹で、「ゼロトラスト」の採用²を加速させる設計となっており、ハードウェア ルート オブ トラスト (セキュア ブート)、安全なアクセス制御、改ざん防止監査ログなどの組み込み型セキュリティ機能を使用して、潜在的なデータ侵害から価値の高い情報を保護します。業界初のメインフレーム システム向けサイバー侵入検出 (zCID) 機能³が、継続的に監視し、悪意のあるアクティビティによって生じた可能性のある異常を検出して、ストレージ担当者にアラートを通知します。PowerMax は米国防総省認定製品リストに登録されています。STIG コンプライアンスに準拠し、TLS 1.3 をサポートし、攻撃発生時に使用される高度なランサムウェアリカバリー サービス (ヴォールト) を備えています。さらに、ポリシーベースの安全で不変のスナップショットをサポートし、有効期限前の偶発的または悪意のある削除を防止します。

3 | 画期的な効率性

PowerMax は、効率性を最適化し、厳格なサステナビリティ目標を達成するために設計された、業界で最もエネルギー効率の高いミッションクリティカル ストレージ⁴です。最新の PowerMaxOS リリースは、業界で最も包括的な電力モニタリング ソリューション⁵を提供します。OpenManager Enterprise プラグイン (OME) を使用して、PowerMax アレイ、ラック、データセンター レベルでの電力消費をリアルタイムで監視できます。動的データ移動により、お客様はワークロードを別のアレイに再配置して、複数の拠点にわたりリソース使用率を最大化することができます。また、PowerMax は、最新のインライン データ重複排除および圧縮テクノロジーにより、オープン システムでは 5:1 のデータ削減⁶、メインフレーム ストレージでは 3:1 のデータ削減⁷ (業界初) を保証しています。最新モデルは、ワットあたり最大 2.8 倍のパフォーマンス⁸を備え、電力コストを 207,000 ドル節約⁹、以前のアレイと比較して温室効果ガスを最大 82% 削減します¹⁰。

4 | DevOps/ コンテナの統合

PowerMax では、主要な DevOps とオープン管理フレームワークの広範なエコシステムを統合して、アプリケーション開発を効率化するとともに、ストレージワークフローを自動化できます。また、VMware 管理との包括的な統合が可能であり、その運用機能として vSphere のストレージ管理とプロビジョニング、VAAI、VASA、ネイティブな vVols サポートなどがあります。PowerMax ユーザーは、コンテナ化と DevOps に CSI、Kubernetes、Ansible、vRealize Operations などのプラグインを利用できます。

5 | ミッション クリティカルなデータの可用性

PowerMax は、ミッションクリティカルな可用性の基準を定める存在となっています。厳格な BC/DR 要件に準拠する実績のあるアクティブ / アクティブのデータセンター レプリケーション、6 秒以内で中断なしに実施される PowerMaxOS アップグレード¹¹、継続的なデータ整合性チェックのいずれにおいても、PowerMax は、ミッションクリティカルなアプリケーションに対して極めて優れたデータ可用性を提供します。また、ミッションクリティカルな VMware 仮想環境では、最高レベルのデータ可用性をもたらす SRDF/Metro 3 サイトレプリケーションを導入できるようになりました。

6 | 耐障害性の高いメインフレームストレージ

PowerMax のメインフレーム接続機能は、時間の経過とともに変化する I/O を含むワークロードのレイテンシーを短縮することで IOPS を向上させるように設計された I/O 最適化機能です。AI 対応の zCID により、パターン学習と警告のヒューリスティックな構築が追加されます。PowerMax は、IBM z15 および z16 プロセッサで IBM System Recovery Boost (SRB) を活用するようになり、目標リカバリー時間 (RTO) が短縮される可能性があります。Dell の Future-Proof プログラムを基盤とする 3:1 のデータ圧縮により、最大 10 ペタバイトの実効メインフレーム容量を確保できます。また、いつでも統合できるため、メインフレームとオープン システムの容量をオンデマンドで割り当てることができます。

7 | 超高速の直接バックアップとリカバリー

PowerMax 向けの Storage Direct 保護は、画期的なパフォーマンスとマルチクラウドの俊敏性をバックアップとリカバリーにもたらします。PowerMax は PowerProtect Data Domain アプライアンスとのネイティブ統合により、バックアップでは最大 46 TB/時¹²、リストアでは最大 21 TB/時¹³ のスピードを実現し、シンプルで直感的なユーザー インターフェイスを通じて超高速でデータを保護します。PowerMax は PowerProtect Data Domain との統合により、サイバー ヴォールト、リカバリーの柔軟性、マルチクラウド サポート、PowerProtect Data Manager を使用したバックアップとリストアのシームレスな管理とオーケストレーションを組み込むことができ、不変性を通じてデータの整合性をもたらします。また、ホスト アプリケーションに対するパフォーマンス インパクトはありません。

8 | シームレスなマルチクラウドの俊敏性

PowerMax のソフトウェア駆動型アーキテクチャにより、マルチクラウド サービスとハイブリッドクラウド サービスが可能になります。APEX Protection Storage とシームレスに統合され、高速で効率的かつ安全なデータ保護を実現します。柔軟なデータ モビリティにより、オンプレミス、クラウド、ハイブリッドの環境間でワークロードを簡単に移動できます。また、PowerMax は APEX サブスクリプションを通じて容量を柔軟に提供するため、変化するワークロードに合わせて容量を適正化できます。これにより、コストを削減し、データの完全な制御を維持しながら、個々のクラウド プロバイダーの強みを活用できます。

9 | 継続的にモダナイズされるストレージ

Dell の Future-Proof プログラムは、ストレージの購入に対する不安を解消します。PowerMax をご購入いただくと、3 年間の満足度保証、ハードウェア投資保護、5:1 のデータ削減保証が得られます。イノベーションにより、わずか 6 秒で中断なしに PowerMax OS ソフトウェアをアップデートすることが可能になりました。そのため、企業はコストのかかる複雑なデータ移行手順を実施することなく、ストレージのイノベーションを簡単に導入できます。

10 | エキスパートによる支援

Dell のサービス エキスパートが、比類のない知識と実証済みのアプローチを取り入れて、お客様の IT 優先事項の戦略から本格的な実装に迅速に移行できるよう支援します。障害を乗り越えて、成果を達成します。デル・テクノロジーズのセキュリティとレジリエンスに関するサービスでデータ リカバリー戦略をシンプルにする場合でも、インフラストラクチャを最適化してビジネスの俊敏性を維持する場合でも、当社にお任せください。詳細はこちら

脚注：

- Dell PowerMax のサイバーセキュリティ機能と、オープン システムおよびメインフレーム ストレージをサポートする競合他社のメインストリーム アレイのサイバーセキュリティ機能と比較した、Dell の社内分析 (2024 年 4 月) に基づきます。
- Del のゼロトラスト アーキテクチャの 7 つの柱と Dell PowerMax のサイバーセキュリティ機能と比較した Dell の社内分析 (2024 年 4 月) に基づきます。
- メインフレーム ストレージ向けの PowerMax 2500/8500 サイバー侵入検出機能とメインストリーム メインフレーム製品と比較した Dell の社内分析に基づきます。2024 年 8 月。
- Dell PowerMax の電力使用率に影響を与える公開済み製品仕様および機能について、8PBe で稼働するオープン システムとメインフレーム ストレージをサポートしている競合他社のメインストリーム アレイと比較した Dell の分析 (2024 年 6 月) に基づきます。
- Dell PowerMax の電力モニタリング機能と、オープン システムおよびメインフレーム ストレージをサポートする競合他社のメインストリーム アレイの電力モニタリング機能と比較した、Dell の社内分析 (2024 年 8 月) に基づきます。
- オープン システム ストレージ向けの PowerMax データ削減ツール (重複排除とデータ圧縮) に基づいて 5:1 のデータ削減保証を提供している Dell の Future-Proof プログラム (2024 年 8 月) に基づきます。実際のデータ削減率は異なる場合があります。
- メインフレーム ストレージ向けの PowerMax データ削減ツール (データ圧縮) に基づいて 3:1 のデータ削減保証を提供している Dell の Future-Proof プログラム (2024 年 4 月) に基づきます。実際のデータ削減率は異なる場合があります。
- 8K のランダム書き込みワークロードを使用して PowerMax 2500 のワットあたり IOPS を PowerMax 2000 と比較した Dell の社内テスト (2024 年 8 月) に基づきます。
- PowerMax 2500 を 8PBe (5kW) で稼働した場合と 6 台の PowerMax 2000 を 8PBe (27.5kW) で稼働した場合を比較し、kWh あたり 0.21 ドル (米国 EIA 2024 年 4 月レポート、カリフォルニア州コマーシャル レート) に基づいて 5 年間の電力コスト削減額の合計を調べた、Dell の社内分析に基づきます。2024 年 7 月。実際のコスト削減額は状況によって変化します。
- PowerMax 2500 を 8PBe (5kW) で稼働した場合と 6 台の PowerMax 2000 を 8PBe (27.5kW) で稼働した場合を比較して 5 年間の二酸化炭素排出量の合計を調べた、Dell の社内分析に基づきます。2024 年 7 月。
- 中断なしで PowerMax OS ソフトウェアをアップグレードするのに要した時間 (PowerMax 2500/8500) を測定した Dell の社内分析 (2024 年 4 月) に基づきます。
- 単一ストレージ グループのバックアップに Epic GeneratorIO を使用した、PowerMax 2500 と PowerProtect DD9900 に関する Dell の社内テスト (2024 年 3 月) に基づきます。実際のパフォーマンスは異なる場合があります。
- 単一ストレージ グループのリストアに Epic GeneratorIO を使用した、PowerMax 2500 と PowerProtect DD9900 に関する Dell の社内テスト (2024 年 3 月) に基づきます。実際のパフォーマンスは異なる場合があります。



Dell PowerMax ソリューションの
詳細情報



デル・テクノロジーズのエキス
パートへのお問い合わせ



他のリソースを表示